

# こがねい 市議会だより

平成30年  
第4回定例会  
第263号

平成31年(2019年)  
2月19日発行

発行／小金井市議会

編集／広報協議会

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号 TEL(042)387-9947(直通) FAX(042)387-1225

小金井市議会ホームページアドレス

<http://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikajimukyoku/>



『障がい』をテーマとして行われた議員研修会(研修会の詳細は3面に掲載)

## 職員勤勉手当の引上げ・ 保育計画策定支援委託料を含む 補正予算6件を可決

### 第4回定例会の概要

平成30年第4回定例会(五十嵐京子議長)は、11月29日に開会し、12月20日に閉会しました。

**平成30年度 一般会計補正予算(第5回)ほか 特別会計補正予算1件を可決**  
本補正予算では、2か年での保育計画策定を支援する委託料等を含む「保育計画策定に要する経費」(823万円)、小学校の教室の内装や黒板の修繕を行う「学校施設維持管理に要する経費」(820万3千円)などが計上されました。

本補正予算については、11月29日の本会議において予算特別委員会(渡辺大三委員長)に付託し、12月13日及び18日の委員会で審査を行いました。

12月20日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

また、市長から下水道事業特別会計補正予算(第1回)が提案され、12月20日の本会議では、採決の結果、原案のとおり可決しました。

**平成30年度 一般会計補正予算(第6回)ほか 特別会計補正予算3件を可決**  
一般会計ほか各特別会計3件の補正予算は、職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、総額2千379万400円を増額するものです。(条例の詳細は2面に掲載)

本補正予算4件については、12月6日の本会議において、予算特別委員会に付託し、12月13日及び18日の委員会で審査を行いました。12月18日の委員会では、起立採決の結果、いずれも可同数となり、委員長裁決(※)により否決すべきものと決定しました。12月20日の本会議では、起立採決の結果、いずれも起立多数により、原案のとおり可決しました。

※ 委員会で可同数の場合、委員長が可否を決定します。

**社会福祉委員への報酬誤支給問題に係る検査を終了**  
本件は、社会福祉委員に係る報酬が特別職の給与に関する条例上は月額1万1千円であったにもかかわらず、1万円を支給して来たことについて、その齟齬を是正するための市長による一連の事務手続が法律、条例、規則等に照らし適正であったかについて、地方自治法第98条第1項の規定に基づき、検査したものです。

本件は、3月28日の本会議において、総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、市議会による監査請求に伴う監査結果も参考に計7回にわたり、①平成29年5月に発覚して以降の市の対応をめぐる諸問題について、②今後の対応と再発防止策について、検査を行いました。

12月18日の委員会では、事務検査に係る結果報告書をまとめ、採決の結果、検査を終了すべきものと決定しました。

12月20日の本会議では、採決の結果、全会一致で検査を終了することと決定しました。

平成30年第4回

### 定例会日誌

- 〔11月〕
- 29日 本会議(議案の審議・委員会付託、陳情の訂正・採決)
- 〔12月〕
- 2日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(一般質問)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・委員会付託、採決、市長報告、陳情の委員会付託)
- 7日 議会運営委員会
- 10日 厚生文教委員会
- 11日 建設環境委員会
- 12日 総務企画委員会
- 13日 予算特別委員会
- 14日 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
- 17日 行政改革推進調査特別委員会
- 18日 厚生文教委員会
- 総務企画委員会
- 予算特別委員会
- 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
- 20日 本会議(委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・委員会付託・採決、陳情の委員会付託)

### ● 議会の検査とは ●

市議会は市の事務について執行機関から書類及び計算書の提出を求めてそれらを検閲し、また執行機関から報告を求めて、当該事務の管理、議決の執行及び出納を検査することができます。

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。

「YouTube 小金井市議会」で検索 (<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>)



# 審議した主な議案

## 難病者福祉手当条例の一部を改正する条例

8月31日の本会議において厚生文教委員会(水上洋志委員長)に付託し、9月10日、11月19日、12月10日の計3回にわたり審査を行いました。

本条例は、平成27年1月の難病の患者に対する医療等に関する法律の施行を受け、難病患者の医療費助成についての対象疾病が大幅に拡大したことから、その状況に合わせて改正することとしたものであり、所得制限及び心身障害者福祉手当との併給制限等を新たに設け、手当の支給要件を改めるものです。

12月20日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

森戸洋子(日本共産党)

反対の理由は、対象疾病が大幅に増えることを理由に、軽度者など約40%を支給対象から外すことが合理的配慮を求めた法律や市の条例に反する。また大幅に増えるという客観的根拠は示せていない。市は難病者の生活実態を調査もせずに条例を提案したが、難病者の尊厳を奪うものであり、許されない。

### 賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

手当支給の対象疾病拡大には賛成だが、経費抑制のため支給制限を設けることには賛成できない。難病医療法は施行以来、難病を持つ方の中で不平等・不公平感をなくすため、対象疾病を増やしているが、条例改正で新たな不平等感を生み出しかねない。難病の種類や程度に関わらない支援策の確立を求める。

## 平成30年度一般会計補正予算(第5回)

予算の概要は1面に掲載しています。

### 反対討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

反対の理由は、①難病者福祉手当について、当事者の声も聞かず、約40%の対象者を外すという削減がされているからである。②保育計画の策定は必要だが、公立保育園の民営化が同時に進められていくからである。③学校施設管理の委託が進められるからである。以上の点から本議案に反対する。

### 賛成討論(要旨)

鈴木成夫(みらい)

①民間保育所の児童安全対策。②公・民を問わず市民参加で保育の在り方を検討する保育計画策定委員会設置。③放課後等デイサービス事業における児童の指標再判定経費。④難病福祉手当改定に伴う市民説明会関連経費が計上され、これまで必要とされながら行われてこなかった取組を高く評価し、賛成する。

### 反対討論(要旨)

白井 亨(こがおも)

予算計上された保育計画策定は、私も幾度となく求めてきたもの。快く賛成したいが、市全体の保育の将来像をこれから協議するの、その運営主体の1つで重要な役割を担う公立園の民営化を同時並行で進めることはプロセス上大きな矛盾があり、将来にわたり良い保育を作ることと繋がらないため、反対する。

## 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

12月6日の本会議において総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、12月12日、18日の計2回にわたり審査を行いました。

本条例は、東京都人事委員会勧告等を踏まえ、正規職員及び再任用職員の勤続手当の年間支給月数の引上げと、給料表改定を行うものです。

### 反対討論(要旨)

吹春やすたか(自民党・信賴)

12月12日の委員会では、修正案が提出され、可決した後、修正部分を除く原案について、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 賛成討論(要旨)

岸田正義(みらい)

12月20日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

渡辺大三(情報公開)

反対の理由は次のとおり。①西岡市長就任後、職員の総額人件費は拡大した。市長が公約した人件費削減に明確に反する。②職員の年間人件費は平均的市の水準に比べてかなり割高である。更に引き上げて平均71万円、最高1千372万円にする必要があるとは到底思えない。③市民生活は厳しさを増している。

## 義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

3月28日の本会議において厚生文教委員会(水上洋志委員長)に付託し、4月26日、5月9日、7月20日、11月19日、12月10日の計5回にわたり審査を行いました。

本条例は、小学校1年生から3年生までの児童について、医療費助成の所得制限を撤廃することにより、疾病の早期発見・医療機関への早期受診の促進による重症化の防止、また、特別区と多摩地域での医療費助成の内容における格差の是正等を目的として、議員から提案しました。

### 賛成討論(要旨)

岸田正義(みらい)

12月20日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

岸田正義(みらい)

4人世帯の国民平均年収約48万円に対し、所得制限は年収約1千万円である。厳しい財政状況では一定の線引きはやむを得ず、あれもこれもではなく、あれかこれかの選択と集中が迫られており、学校施設の老朽化対策等やらなければならぬ事とやった方がよい事は現段階では区別すべきと考え、反対する。

### 賛成討論(要旨)

湯沢綾子(自民党・信賴)

子どもの医療費に関する重要な制度で自治体間の格差があることに驚かれる方も多い。特別区は中学校3年生までの医療費が無料、多摩地域でも助成を拡充する自治体が増える中、「子育て環境日本一」を信じて転入して来られる方もおり、本市も決断すべきタイミングに来た。状況的にも実現可能と考える。

### 反対討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

子どもの教育、医療費は本来国が無償化すべき。条例案では一般財源で約2千800万円必要。最優先とすべき理由が見えない。一定以上の所得層の医療費が無料なら受診抑制や虐待予防に繋がるといふデータはない。更に小児科医の誘致も必要。虐待や緊急性の高い子ども施策など、まずはニーズ調査が必要。

### 賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

市が行ったニーズ調査や意識調査では、経済的支援を求める意見が数多く寄せられ、小学校1年生から3年生までの医療費助成の所得制限撤廃は市民の願いに沿う。医療機関を受診しやすくなることにより病気の長期化、重症化を抑え、結果的に受診件数の減、医療費の削減につながるため、賛成する。

### 賛成討論(要旨)

沖浦あつし(こがあす)

子どもの医療費助成制度は、子育て世帯が住みまちを決める際、数ある自治体制度の中で必ずや確認する項目であり、このまちに移り住みたい、子育てをしたいと思われのために、向き合うべき施策である。小学校3年生までの所得制限撤廃は、近隣他市比較で平均となるのは妥当であると判断し、賛成する。

### 賛成討論(要旨)

全員協議会を開催しました

12月18日

本町住宅の建て替えに係る都市計画変更について(本町四丁目地区地区計画の決定、一団地の住宅施設の廃止、本町第一公園及び本町第二公園の変更) 三楽公園の都市計画変更について

## 閉会中の委員会日程及び審査案件

### 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

1月21日(月)午後1時

▶新市庁舎の床面積縮減等による建築コスト削減等を求める陳情書 ▶市庁舎の建設面積を縮減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 ▶公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 ▶新庁舎の床面積の大幅増に反対し、コンパクトでコストダウンの建設を求める陳情書 ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その1) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その2) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その3) ▶庁舎建設予定地の大型樹木を保全し、小金井らしい緑豊かな庁舎とすることを求める陳情書(その4) ▶多くの市民が利用する福祉会館は、多くの職員がいる市庁舎の北側ではなく、採光や眺望の良い南面に建設することを求める陳情書 ▶庁舎建設予定地北側(JR中央線高架下)からの道路の恒久的確保を求める陳情書 ▶環境配慮型公共施設のモデルとなる「新庁舎・新福祉会館」(グリーン庁舎)の実現を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る

### 行財政改革推進調査特別委員会

1月22日(火)午前10時

▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

### 議会運営委員会

1月23日(水)午前10時

2月15日(金)午後2時

▶市議の視察日当(日額2800円)を廃止し、「議会だより」フルカラー印刷化等の財源を捻出することを求める陳情書 ▶市議会議員定数に関して、市民の意向調査を求める陳情書 ▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

### 総務企画委員会

1月28日(月)午前10時

▶小金井市の予算査定に関する調査及び財政援助団体の財務等の調査を求める陳情書 ▶東小金井駅北口駅前周辺に金融機関(郵便局)の誘致を求める陳情書 ▶パンズ副大統領ほか米国の文民要人が我が国入出国の際、在日米軍専用施設、横田飛行場等を使わないことを求める

意見書提出陳情書 ▶小金井市公共施設等総合管理計画の進捗状況と方針についての諸問題の調査

### 厚生文教委員会

1月29日(火)午前10時

▶小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例 ▶公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 ▶都において児童相談所・警察・学校などの連携・協力を進め、児童虐待防止対策の抜本強化・拡充するため意見書提出を求める陳情書 ▶福祉的視点から、相談者に寄り添った母子父子自立支援員・婦人相談員の相談体制の充実を求める陳情書 ▶市の体育施設の自販機利益は市として収入し、市内スポーツ団体に平等に配分することを求める陳情書 ▶国に対し、「幼児教育・保育の無償化に関する意見書の提出を求める」陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

### 建設環境委員会

2月4日(月)午前10時

▶小金井市のリサイクル事業所の継続をのぞむ陳情書 ▶駅周辺整備に関する調査 ▶市内都市計画及び住環境に関する調査 ▶資源循環社会形成に関する調査

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

# 議 案 の 審 議 結 果

議案内容	付託先	【会派略称】													議決結果									
		○:賛成 ×:反対 △:退席 議:議長(原則、採決には加わらず)																						
		自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑											
吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	
春	沢	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井	
す	綾	律	嵐	百	洋	久	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	亨	康	大	祐	あ	あ	え	え	
た	子	子	京	合	志	貴	也	子	子	樹	子	誠	で	夫	義	夫	三	し	し	つ	つ	つ	つ	
小金井市難病者福祉手当条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第5回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市一般会計補正予算(第6回)	予	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	予	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市下水道事業特別会計補正予算(第2回)	予	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成30年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第2回)	予	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
↳ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案(議員提案)	総	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×	否決
小金井市立清里山荘の指定管理者の指定について	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市総合体育館及び小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者の指定について	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(議員提案)	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	△	×	○	○	○	×	原案可決
社会福祉委員への報酬誤支給問題に係る検査(議員提案)	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	終了
小金井市保育計画検討委員会設置条例(議員提案)	厚	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決

# 請 願 ・ 陳 情 の 審 議 結 果

請願・陳情内容	付託先	【会派略称】													議決結果									
		○:賛成 ×:反対 △:退席 議:議長(原則、採決には加わらず)																						
		自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑											
吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	
春	沢	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	井	藤	辺	原	頭	浦	山	井	
す	綾	律	嵐	百	洋	久	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	亨	康	大	祐	あ	あ	え	え	
た	子	子	京	合	志	貴	也	子	子	樹	子	誠	で	夫	義	夫	三	し	し	つ	つ	つ	つ	
社会福祉委員に意図的に条例違反の報酬支給を続けていた事件の全容解明を求める陳情書	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	採択
社協バス「みどり号」の存続を求める陳情書	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
子どもの権利に関する条例を推進するための計画の策定と継続的な検証を求める陳情書	厚	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採択
子どもの最善の利益を保障する「子どもオンブズパーソン」の設置を求める陳情書	厚	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採択
臓器移植の環境整備に関する意見書の提出を求める陳情書	厚	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
キンヒバリの里の残地の取得を求める陳情書	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
厳寒期の大災害に備え、各避難所にジェットヒーター等の導入を求める陳情書	総	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	不採択
西岡市長の選挙公約(人件費削減)が全く守られておらず、逆に人件費が急増していることに関する陳情書	総	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
東小金井駅北口駅前周辺に金融機関(郵便局)の誘致を求める陳情書の訂正	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeでご覧いただけます。

平成30年12月18日(火)

平成31年1月16日(水)

## 広報協議会

議員の住所が変わりました

平成29年5月30日発行の市議会だより第26号に掲載した名簿の情報から変更のあった内容についてお知らせします。

たゆ久貴(日本共産党)

住所 貫井北町1-25-7  
シルキーゼファールIV  
101号室

## 議員研修会を開催しました



2月1日に、議員研修会として、「小金井市を障がい者を含めたすべての人が暮らしやすい街にするために」をテーマに、石川明代さん(障害平等研修フオーラム認定Aランクファシリテーター)を講師にお招きし、市民の方にも公開して障害平等研修(DET)を開催しました。

この研修では、様々な映像やイラストを用いたグループワークや対話を通じて、障がい者を排除しない社会づくりを参加者同士で考えました。

## 議員研修会を開催しました

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。

「小金井市議会 会議録」で検索 (<http://asp.db-search.com/koganei-c/>)



# 一 般 質 問

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

(4面～6面) 12月2日、4日、5日、6日

## 会 派 の 略 称

(自民党・信頼) 自由民主党・信頼の小金井	(情 報 公 開) 情報公開こがねい
(日本共産党) 日本共産党小金井市議団	(改 革 連 合) 改革連合
(公 明 党) 小金井市議会公明党	(生活者ネット) 生活者ネットワーク
(み ら い) みらいのこがねい	(こ が あ す) 小金井の明日をつくる会
(こ が お も) 小金井をおもしろくする会	(市民カエル) 市民といっしょにカエル会
(市 民 会 議) こがねい市民会議	(緑・つながる) 緑・つながる小金井

## スマホながら運転撲滅 市長選挙公約を問う



吹春やすたか (自民党・信頼)

①電動アシストサイクルや自転車のギア部分に装着するだけで高速化する商品も販売されている。ワイヤレスタイプイヤホン普及率も上がっており、耳を塞ぎ自転車走行している方をよく見る。市内には約16か所の駐輪場があり、収容台数は1万1千台を超える。(ア)ピンポイントで「スマホ操作ながら運転を止めましょう」と訴えるべきではないのか。(イ)小中学生に対しスマホ操作ながら運転に対する作文や標語募集などの啓発活動をしてはどうか。

**都市整備部長** (ア)現在、ピンポイントな内容のポスターはない。(イ)小中学生の作文、標語募集については今後、研究していきたい。

②(ア)市長選挙公約で建設費を約67億円とした新庁舎(仮称)新福祉会館が現状では約90億円である。この乖離について問う。(イ)図書館建設費は約42億円と試算され、公約と総額がかなり違うがどう説明するのか。

**市長** (ア)67億円は建設費だけで、その他の設計費用等は含まれておらず、誤解を与えかねない表現だった。(イ)当時の平均的な建設単価に基づき面積を当てはめ建設費を計上した。市の財政スキームも具体的に打ち出していないかった。

## 学校体育館に空調を いじめ防止条例早急に



小林正樹 (公明党)

①都内小・中学校体育館のエアコン設置率は現在約1割にとどまる。国や都の補正予算成立を契機に本市でも、子どもたちの安全、避難所の環境整備の観点からも、設置を進めないか。

**学校教育部長** より確実な詳細情報を得て検討したい。機械室の増築や、設備的課題もある。リース方式も検討が必要である。一気に全校設置とはいかないが、政策・財政部門とも協議し、一定の方向性を示したい。

②「いじめのないまち 小金井」宣言から6年。国や都の動向も見定めながら、急速に、様々な施策に現場

展開をされて、学校ごとも積極的な取組をいただいている。条例設置により、それぞれの責務を明確にし、専門家などの連携を密にし、もう一段、対応を強化していただきたい。

**教育長** 広く学識経験者の意見を取り入れ、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めるため、一日も早く検討会を作る必要がある。その実現のためには、条例設置が先決である。全力で取り組んで参りたい。

■その他、市長が市民と約束した人件費削減等による経常収支比率の改善や、緊急40億円対策が、全く進んでおらず逆行している点について指摘しました。

## 将来を見据えた「新庁舎・ 新福祉会館」建設



斎藤康夫 (市民会議)

新庁舎の計画は既に2つの市民検討委員会、市民説明会、パブリックコメントを経て平成26年度に基本設計予算が計上されたが、稲葉前市長は執行しなかった。その後、西岡市長が誕生し、私は平成34年3月竣工を前提として、市長が提案したCreier2案を、不本意ながら容認した。しかし議会側からの4項目の要望により、市長は追加調査を行い、C-3案を提出した。それは大幅な工期延長と内容変更を伴うものであった。また、1つの建物を計画するに当たり、あえて別棟とし、2つの耐震構造を採用する

など、船頭が多くて船が山に登ってしまいそうである。設計事業者を選定するに当たり、これまでの計画理念を前提とし、C-3案に捕らわれない形状の配置計画案も可能なことを記述した。募集要項とすべきである。

**市長** 基本設計に当たり、既存清掃関連施設の暫定移設は行わない。複合施設として整備し施設規模の縮減を行う。新福祉会館機能を早期に回復する。免震構造を採用する場合に生じる地下空間は駐車場とする。緑地・広場を確保し、発災時に活用する。これらの条件に施設配置案を絞り込むのではなく、設計者の知見を織りまぜて進めていく。

## 誰にとっても優しい 投票所作り・投票支援を



沖浦あつし (こがあす)

障害者差別解消条例が本市で施行されたことに伴い、障がいのある方に関わらず誰にとっても優しい投票所作り、知的障がい者等への投票支援を考える。(ア)平成25年の公職選挙法改正により成年被後見人の投票する権利は保障されたが、実際の投票を支援するのは、おおむね市の職員である。知的、精神、発達等の障がいそれぞれの特性、その特性から想定される職員の対応の仕方や代理投票制度について研修やマニュアルの作成を行っているか。(イ)身体的障がい者に対する投票のバリアフリーの配慮がある

一方、知的障がい者等に対しては余りない。個々の特性に応じた支援が求められる中、狛江市では「支援カード」を作成し、投票の流れの説明や、投票の場面ごとに具体的にどんな合理的配慮が必要か、記載欄がある。本市でも支援カードを活用しないか。(ウ)市としてどんな支援ができるのかをご本人やご家族等に伝えることが大切である。その働きかけを検討しているか。

**選挙管理委員会事務局長** (ア)行っていない。(イ)今後の研究課題としたい。(ウ)円滑な投票のためには、ご家族等に事前の準備等の協力が必要である。先進市の状況・実態を確認したい。

## SDGsの推進を 時代は人道的競争へ



宮下 誠 (公明党)

2015年9月に「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択された。英語の頭文字をとって「エスディーズ」と呼ばれている。これは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、17の国際目標を定めたものである。発展途上国だけでなく、先進国を含めた全ての国で、政府や企業、自治体、市民社会等が取り組んでいくことになっている。(ア)SDGsの学習について、ユニセフから全国の中学校へ届けられている副教材「私たちがつくる持続可能な世界」を活用しない

か。(イ)市の基本構想や基本計画などにSDGsの項目を連動させて組み込んでいないか。

**学校教育部長** (ア)教育委員会として、子どもたちが持続可能な社会について主体的に考えるよう、SDGsの副教材活用を推進する。

**企画財政部長** (イ)市の最上位計画の策定に向け、SDGsの考え方もも踏まえ検討していきたい。

**市長** (イ)地球温暖化やエネルギー資源問題、市における様々な課題に向け、SDGsの考え方を行動宣言は重要な影響を与える。今後、市が策定する取組等において、理念について研さんを深め、考えていきたい。

## 高齢者の運転免許自主 返納支援事業の創設を



板倉真也 (日本共産党)

(ア)高齢者の運転免許自主返納を後押しする施策が必要だと考えているか。(イ)国分寺市と同様に、高齢者運転免許自主返納支援事業を実施すべき。(ウ)新庁舎の完成を待つのではなく、早急に支援事業を創設すべき。

**都市整備部長** (ア)交通事故を未然に防止する観点から、自主的な運転免許返納を促す取組については必要性を感じている。(イ)国分寺市が実施しているコミュニティバスの無料パスの交付は、自主返納に対しては効果的だと考えられるが、運転免許を自主返納した高齢者のみへの対応となること

から、運転免許を取得していない方との間で公平性に欠ける。また、高齢者の運賃を無料にすることによってコミュニティバス運行補助金の更なる増額を招く可能性が高く、結果として財政負担が多くなり、持続的なコミュニティバス運行が困難になることが考えられる。(ウ)警視庁、東京都で実施している運転経歴証明書を提示することにより特典や優待を受けられる支援事業を市報、ホームページ等で紹介、周知することで免許返納を促していきたい。コミュニティバス再編事業の中で、運転免許返納者に限らず、高齢者全体に向けた対策を検討したい。

## 子どもたちと共に生きる 社会を育まないか



鈴木成夫 (みらい)

社会的弱者は社会が生み出してしまっている。(ア)教育委員会は、障がいの社会モデル理解の子ども向け冊子作製にどう関わっているのか。(イ)この冊子により、子どもへの育ちをどのように期待していくのか。

**学校教育部長** (ア)自立生活支援課と連携し、冊子作製に取り組んでいる。完成後は授業で活用し、子どもたちが学びながら、小金井市の条例の理解を深めることを考えている。そのため、子どもたちに分かりやすく、教員が教えやすい紙面を作る必要があると考えている。

**教育長** (イ)障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会の実現のために大切なことは、全ての人が障がいとは何かを考えて理解を深め、全ての人が地域で安心して暮らせるようになること。しかし、障がいの受け止め方や反応は、無知を原因として、恐がり、避けてしまうなど、感情的な反応をしてしまうことはあるため、障がいのある人の困り感を受け止め、それを「自分ごと化」し、子どもたちに何が出来るか考えさせるような教材にしたいと考えている。

■その他、「来年度改定予定の地域防災計画見直しについて」を質問しました。

### なぜ、小学校トイレの3Kは改善しないのか



白井 亨 (こがおも)

相談を受けたこともあり、3K(汚い・臭い・暗い)が原因で子どもがトイレを我慢する経験の有無について独自のアンケートを取ったが、4人に3人が経験あるという。(ア)これらの状況に対して市の見解は。(イ)親も教師も子どもの便秘に気が付いていないという専門家の指摘がある。実態の把握をしてはどうか。(ウ)今後取り組む学校施設の長寿命化対策は順番に実施するため、全て完了するまで相当な年数を要する。順番が遅い学校は先にトイレの改修を別途計画する考えはあるか。(エ)週1回のトイレ清掃では

### 西岡市政のこれまでの成果と今後の課題



村山ひでき (みらい)

①西岡市政の任期が3年を過ぎたが、これまでの成果について。(ア)特に成果をあげた施策は。(イ)庁舎建設は基本設計に入るべきだが、市民や議会からの声を反映させていくイメージは。

②今後の課題について。(ア)残り任期1年で重点を置く施策は。(イ)施策を前に進めるためにも市長の時間の使い方を工夫すべき。土日で市長自身が施策を考える時間を作ってもらいたい。

### 病児保育の早期実施と放課後の在り方を問う



岸田正義 (みらい)

①病児保育が未実施なのは26市で本市ともう1市のみ。医療機関施設型の病児保育を早急に実施すべき。

②9月に国から示された新放課後子ども総合プランについて。(ア)余裕教室等の年間使用計画や活用状況について公表し、コーディネーターの負担を軽減しないか。(イ)放課後の居場所を提供している民間サービスを積極的に活用しないか。(ウ)放課後の全体像が分かるパンフレットを作成しないか。

### 温室効果ガス削減と再エネへの転換を



坂井えつ子 (緑・つながる)

(ア)地球温暖化対策地域計画では、公共施設における温室効果ガス排出量を基準年度(1996年度)比で、2020年度には14・7%削減を掲げている。しかし、2016年度は19・4%増で、2017年度は更に増えていくようだが、数値とその評価は。(イ)排出量増の分析を、対策につなげていくために、大幅増となっている。対応策は。(ウ)持続可能な社会構築のため、温室効果ガス削減と再生可能エネルギー利用拡大に向け、思い切った政策を。

②環境部長 (ア)2017年度は、基準年度比約36・7%増、基準年度で計算した排出係数は前年度比2%増だった。電気使用量は増えているが、2006年度以降、公共施設の増加等のため、基準年度以下にすることは根本的にかなり難しい。ラニニヤ現象もあつた中、前年度比2%増で済んだのは、市職員の努力の結果と認識している。(イ)エネルギー削減は難しいが、削減啓発や再エネ機器の導入などを促進していく。(ウ)環境負荷の更なる削減や持続可能な社会の構築は大変重要と認識している。これまで以上に研究していきたい。

### COCCOバス野川・七軒家循環の利用改善を



河野律子 (自民党・信頼)

①南小学校至近へのバスの新設、乗り残しがある時間帯の増便等利用改善を。(イ)中前橋バス停付近に交通安全を注意喚起する看板の設置や回数券の導入を。

②補助金の有効活用により避難所でもある学校体育館の施設状況に併せて冷房を設置し教育環境の改善を。③保育園に通う子どもの使用済みおむつの持ち帰りを見直しへ支援し、負担軽減により子育て環境の改善を。

### 子どもたちの更なる自己肯定感の向上を



遠藤百合子 (自民党・信頼)

学校においても家庭においても子どもたちの自己肯定感と自尊心の向上が最も大事な観点である。(ア)平成25年発行の青少年問題協議会パンフレットの配布状況は。(イ)小中学校各校で行われている公開授業や講演会の際も、道徳教育の推進とともに、自己肯定感と自尊心の向上が言われている。

②環境部長 (ア)来年度の教育課程の方針の1つに、子どもの自己肯定感を高めることを目標としている。

### 障がい者施設で制作した商品の周知・徹底を



紀 由紀子 (公明党)

①「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小倉市条例」が10月に施行された。作業所で働く障がい者の工賃は、月1万円にも満たない。社会参加や生きがいのため、工賃を増やす支援の取組をすべき。(イ)小金井市の行事等での活用を。(イ)商工会等(イトーヨーカ堂を含む)と更に連携しないか。

②森林環境譲与税(仮称)が平成31年度から都道府県・市町村に配分される。森林環境譲与税(仮称)の用途は、木材利用の促進や普及啓発にも使うことができる。公共施設等に使用すべき。(ア)森林環境譲与税(仮称)の用途について考えているか。(イ)公共施設等で木材、特に多摩産材の利用促進を図らないか。

### 子どもの権利を活かす町にしよう



片山 薫 (市民力エール)

子どもの権利条約について。子どもの権利条約の位置付けと権利条約の周知は。公立園や民間園を問わず、親に対して手引きの配布を。(イ)子どもが主体の保育のガイドラインの策定を。(ウ)公立園が中心となり民間園との連携を。(エ)松本市、川崎市の条例を参考に子どもの権利条約推進計画づくりを。策定スケジュールは。(オ)検証機関となる子どもの権利委員会の設置を。(カ)川西市を参考に子どもオンブズパーソンの取組を。

②子ども家庭部長 (ア)国の保育指針は子どもの権利条約に共通する。(イ)子どもが権利の主体であることを認識し、策定する考えである。(ウ)担当課、検討部会、関係各課、子ども・子育て会議の委員とも協議する。(オ)ユニセフの動向も加味する。保育政策担当課長 (ア)条例施行時に公立園に手引きも含めて配布している。民間園については把握していない。(ウ)民間園に対して市は認識していない。

### オスプレイ配備撤回 日米地位協定見直しを



水上洋志 (日本共産党) の見直しに際して、市民や議会の意見反映を求める。

①(ア)横田基地へのオスプレイ配備について、東京都と周辺市町連絡会は情報提供などを要請しているが、要請が踏みじられる事態である。配備撤回を要請すべきと考えるが市長の見解を問う。(イ)全国知事会は日米地位協定の見直しを含む「提言」を全会一致で採択した。市長の見解を問う。  
市長 (ア)国に、説明責任を果たすことや、安全対策の徹底と環境への配慮等を米国に働きかけるよう26市の総意として要請した。(イ)空域に関する課題がある。  
②防災対策の強化について問う。(ア)今後の防災計画

の意見に際して、市民や議会の意見反映を求める。  
(イ)避難所運営などに関して学校と地域の連携強化が必要である。避難所運営連絡協議会の開催や地域と連携した防災訓練の実施などを求める。(ウ)マンホールトイレの整備の計画を前倒しで実施すべき。  
総務部長 (ア)防災会議に市民が参加しており、パブリックコメントでも意見を聞いていく。(イ)教育委員会と連携して検討を進めていく。(ウ)平成32年度以降は1年に2校の整備ができないか関係課と協議している。  
■その他、浴恩館公園の水路復活について質問しました。

### 塀とエアコンの対策を 介護職員の処遇改善を



たゆ久貴 (日本共産党) まう」などの声を聞いています。こちらも国や都が新たな補助を行う中、市は学校の教室だけでなく体育館にもエアコンを設置するべき。

①倒壊のおそれのある危険なブロック塀について、市民からは「怖いから塀から離れて歩いて」という声を聞いている。国や都が新たな補助を行う中、市として公共施設のブロック塀の早急な改修と、民間のブロック塀の改修への補助をするべき。  
企画財政部長 市が危険とした学校・保育園・公園のブロック塀の整備は平成30年度末までに完了予定。  
総務部長 民間ブロック塀への補助は検討したい。  
②近年は猛暑が当たり前のようになり「授業に集中できない」「体調を崩してし

まう」などの声を聞いています。こちらも国や都が新たな補助を行う中、市は学校の教室だけでなく体育館にもエアコンを設置するべき。  
学校教育部長 着実に検討を進めていきたい。  
③介護現場は賃金が安い等の理由で人手不足になっており、制度の基盤を脅かす重大事態になっている。市は介護を守るために賃金への補助や、宿舍借上げなどの家賃補助を行うべき。  
福祉保健部長 処遇改善や人材確保策については異なる取組が必要。できることがないか検討したい。  
■その他、一学校職員の長時間労働の是正のための取組」を求めました。

### 武蔵小金井駅北口周辺の 再開発整備を



篠原ひろし (改革連合) 体の不自由な方が安心して歩けるバリアフリーの歩行者空間の整備が必要と考え

①私も大変に期待していた武蔵小金井駅北口周辺再開発整備計画が整備地区範囲について調整がつかず準備組合が解散になったと聞いた。南口と比較して開発整備が遅れている。北口広場の北側は歩道が狭くバス待ちの列で残スペースが狭隘となり、行きかう人の傘などがぶつかり合う状態だ。再開発手法等により歩道の拡幅、広場等の公共スペース設置のためにも市として積極的な力を注いでいくべきではないか。市に相談が来ているのかどうか尋ねる。  
都市整備部長 市としては周辺道路が狭く歩行者や

者の不自由な方が安心して歩けるバリアフリーの歩行者空間の整備が必要と考えられている。安全安心なまちづくりを進める必要から地元とも協議を進めている。  
②旧中村研一邸が来年3月頃に正式に小金井市内で初の国の登録有形文化財に登録される見通しとの報道がなされている。市政施行60周年であり、町おこしの財として市内外にアピールすべき。  
生涯学習部長 旧宅と花侵庵の建築物調査、市文化財保護審議会の答申を経て文化庁に登録申請した。  
市民部長 老朽化した茶室を修復し、企画等を開催するなどしたい。

### 学校に香害ポスター 健康長寿と図書館充実



田頭祐子 (生活者ネット) 県は、図書館数も日本一。本や雑誌を読む人が健康長

①経済課の香害の啓発ポスターがCOCOBASや公共施設に掲示される。市のHPでもすぐに検索できるよう改善を求める。(ア)医療機関や福祉施設、学校や保育園にも情報発信とポスター掲示を。(イ)学校では子どもの実態を調査し、給食着など共有する衣類へは柔軟剤使用へ配慮の呼び掛けを。福祉保健部長 (ア)ポスター掲示と情報提供は検討。  
学校教育部長 (イ)給食着への配慮が必要。子どもが健康な学校全体で対応する。毎年の健康調査で化学物質過敏症も実態把握できる。  
②健康長寿日本一の山梨

県は、図書館数も日本一。本や雑誌を読む人が健康長寿なら、山梨県に倣い、できる事を取り入れられないか。(ア)市民が読み終えた週刊誌や雑誌を図書館に寄贈し、自由に閲覧できるコーナー設置を。(イ)開館日や夜間時間の延長を。(ウ)児童保育却機の設置を。(エ)学童保育だけのでない、放課後の子ども居場所として図書館や公民館も利用しないか。  
生涯学習部長 (ア)読書と健康寿命の関連性は注目。できる事を研究したい。(イ)図書館本館でも拡充を検討。図書効果の高いシステム導入効果の高いシステム検討したい。(エ)子ども居場所として活用されているが、見守りは体制上難しい。

### 高齢者を狙った詐欺 被害の緊急防止対策を



渡辺ふみ子 (公明党) 加購入を予定している。(イ)これまで消費生活相談室が発行した啓発チラシ等が注

①市内では振り込め詐欺や、キャッシュカードを騙し取る等の高齢者を狙った悪質な犯罪が増加している。被害者の76%が70歳以上であり、男女別では、76%が女性である。(ア)電話による詐欺行為に効果のある自動通話録音機の貸与状況と今後の対策は。(イ)キャッシュカードの利用限度額を低く設定する等のアドバイスや、詐欺の手口を書いたチラシを配布する等、丁寧な対策を。(ウ)防犯カメラの設置場所を計画的に増やすべき。  
総務部長 (ア)平成29年10月から平成30年10月までに200台を貸与した。来年度追

加購入を予定している。(イ)これまで消費生活相談室が発行した啓発チラシ等が注意喚起してきたが、関係課や関係機関と相談したい。(ウ)市民の理解を得るため、地域団体による設置を推奨したい。  
②消費税10%への負担軽減のため、多くの国で導入している軽減税率が導入されるが、準備は整っているか。  
市民部長 事業者からの相談等はまだまだないが、消費税率改定や経済対策が決まり次第遅滞なく対応できるように国の動向を注視する。  
■その他、市として名勝小金井桜を通じ、都市間交流を進めるよう要望しました。

### 京王バス減便による COCOBASへの影響



湯沢綾子 (自民党・信頼) 大きな問題となっている運

京王バス(武蔵小金井駅南口)武蔵境駅南口)の減便に関わって議会でも市民からの様々な意見要望が取り上げられているが、今回はCOCOBAS中町循環への影響を伺いたい。平成30年4月から中町循環の乗客数は月平均2千人前後増加しており、特に朝の早い時間帯で大変混雑するようになった。(ア)始発時間を午前9時より早めるかまたは増便することはできないか。(イ)配慮を必要とする方には席を譲っていただけよう放送などで促して欲しい。  
都市整備部長 (ア)京王バスの減便は運送業界全体で

大きな問題となっている運転手の人員不足が原因とのこと。市民の皆様が不便を感じられていることは認識している。COCOBAS始発便の延長や増便を検討したが、それも運転手の人員不足により困難な状況である。COCOBAS再編事業の中で運行時間や運行間隔等を総合的に考えていきたい。(イ)車内混雑時における座席の譲り合いにご協力いただければ、手法等を検討していく。  
■その他、市役所業務における内部統制の欠如と必要性について指摘し、リスクの可視化と継続的にモニタリングを行うシステムの構築を要望しました。

### 「まちなおし」に向けて の提案(その1)



渡辺大三 (情報公開) の対応をするべきである。JR東日本の土地なので協

ちよつとした工夫で都市景観・利便性を向上させる。「まちなおし」を提案する。(ア)東小金井駅南口ロータリー東側の駐輪場として以前使用していた所の駐輪区画の線がグチャグチャに引いてある。インターロックキング舗装と、適切な緑化を。(イ)同西側のみずほ銀行ATM前の放置駐輪防止柵が非常に無秩序かつ乱雑で都市景観を害している。景観に配慮を。(ウ)中央線高架下の歩道状空地が保育園の所で止まっている。緑中央通りまで延伸してほしい。現状と課題は。  
都市整備部長 (ア)何らか

の対応をするべきである。JR東日本の土地なので協議を重ねたい。(イ)ご指摘を歩行者と自動車が増加傾向にある。必要性は認識している。市の費用で設置することについてはJR東日本から一定の理解を得ている。JR東日本と協議を継続する。  
途中で切れる高架下歩道

### COCOBASの 改善について再び問う



森戸洋子 (日本共産党) 止されようとしているが、

①京王バスのダイヤとルート変更について。(ア)シルバークの利用、東町循環と中町循環の乗り継ぎ券の発行、乗り継ぎの待ち時間の短縮について問う。(イ)東町一丁目、五丁目のバスの運行の要請が市民から提出されている。対応について問う。  
都市整備部長 (ア)全体のサービスに関する長期的な検討をコミュニケーション再編事業の中で行いたい。(イ)バス会社と協議し、4月をめぐりに23分間を8分間に短縮することで連結性を高めることで進めている。  
②リサイクル事業所が廃

止されようとしているが、存続を求める。リサイクル事業所の廃止は、ごみの減量や広域支援をお願いし、非常事態宣言を発していることと逆行する。(ア)リサイクル事業所を存続すべきではないか。(イ)粗大ごみ、放置自転車リサイクル事業など、担当課はシルバークセンターと協議しないか。  
環境部長 (ア)シルバークセンターと話し合いをしたが、延伸することにはならなかった。  
福祉保健部長 (ア)にわかには、ここでも実施するということにはならない。  
都市整備部長 (イ)今後シルバークセンターと意見交換等をしていきたい。

# 意見書・決議の審議結果

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 共：日本共産党小金井市議団  
 公：小金井市議会公明党 会：こがねの市民会議 情：情報公開こがねい 明：小金井の明日をつくる会  
 会：こがねの市民会議 情：情報公開こがねい 明：小金井の明日をつくる会  
 会：こがねの市民会議 情：情報公開こがねい 明：小金井の明日をつくる会  
 会：こがねの市民会議 情：情報公開こがねい 明：小金井の明日をつくる会

議 決 結 果

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑											
吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂
春	沢	野	十	藤	上	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	井	藤	原	原	頭	浦	山	井
や	綾	律	嵐	百	洋	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	亨	康	大	ひろ	祐	あ	あ	薫	え
す	子	子	京	合	志	也	子	き	樹	子	誠	で	夫	義	夫	三	し	子	つ	つ	薫	つ
た			子	子				子														

※可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	自	共	公	み	お	会	情	改	ネ	明	市	緑	議 決 結 果	
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地代替施設について国民的議論を深め、民主主義及び憲法に基づき公正に解決することを求める意見書	辺野古新基地建設工事を直ちに中止し、普天間基地を運用停止すること。国民的議論で代替施設が国内に必要となるなら、沖縄県以外の全国の自治体を候補地とし、公正で民主的な手続きにより解決すること等を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
幼児教育・保育の無償化は、自治体負担を課さず全額国費で実施することを求める意見書	幼児教育・保育の無償化の実施に必要な財源については、国の責任において全額国費で賄い、恒久的に確保すること。更には、人件費増やシステム改修経費など、事務処理に必要な財政措置を求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	原案可決
伊方原発3号機の再稼働に抗議し、「原発ゼロ」の実現を求める意見書	伊方原発3号機は、半島の付け根に位置し、事故の際、住民孤立のおそれがあり、使用済核燃料の最終処分場も未定。課題先送り、住民不安置き去りの再稼働が常態化している。再稼働に抗議し、原発ゼロの実現を求む。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
東海第二原発の再稼働に反対する意見書	東日本大震災以降平均25億円の赤字、2012年以降の発電量ゼロ、更に運転開始から40年を超える東海第二原発の運転延長を認めないこと及び東海第二原発の廃炉を事業者に求めること等を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
原子力損害の賠償に関する法律の見直しを求める意見書	①賠償措置額を福島原発事故に対応しうる額に設定、②「原子力事業の健全な発達に資する」を「原子力事業の賠償責任を果たさせる」とする、③原子力事業者以外への求償制限撤廃、④現行制度の不備を改めること等を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
原発事故避難者への支援の継続を求める意見書	全ての避難者の生活実態調査と包括的な支援策の実施、帰還困難区域や避難指示解除区域の応急仮設住宅の無償提供継続及び避難指示区域外避難者に対する応急仮設住宅打ち切り撤回と無償提供の継続等を求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	原案可決
日米地位協定の見直しを求める意見書	全国知事会は、日米地位協定の見直しを含む提言を全会一致で採択した。政府に、日米地位協定を見直し、国内法を米軍にも適用すること、事件事故時の自治体職員の出入り保障、基地の整理縮小、返還の促進等を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	○	原案可決
義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書	被災者の生活再建のため、近年、自然災害が頻発化する中、災害が起こる度に立法措置するのではなく、国会閉会中も対応可能となるよう、恒久法としての立法化を早期に進めることを国会及び政府に求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
無戸籍問題の解消を求める意見書	無戸籍問題とは、何らかの事情で出生届を出さないため、戸籍が無のまま暮らさざるを得ない子どもや成人がいる問題である。無戸籍者に生活上の不利益がないよう、問題の解消に早急に取り組むことを強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
認知症施策の推進を求める意見書	認知症の人は年々増加し2025年には700万人を突破すると見込まれる。尊厳を持って生きられる社会の実現を目指し、基本法の制定、若年性認知症の支援体制の整備等、認知症施策の更なる充実を強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
原発放射能汚染土壌の公共事業や農地への利用方針の撤回及び除染土再利用政策の見直しを求める意見書	環境省は8千ベクレル以下の除染土を公共工事や園芸農地で再利用する方針。飛散・流出の完全な防止は難しく、地下水の汚染、工事従事者や通行人の被ばく等も懸念される。よって、方針撤回と再利用政策見直しを求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	原案可決
改正出入国管理法の強行採決に抗議し、本法の撤回と技能実習制度の根本の見直しによる人権回復を求める意見書	国会審議は不十分。低賃金や劣悪な労働環境など技能実習制度による人権侵害やずさんな入管行政も明白になった。外国人労働者を生活者として迎える策が必要。本法撤回と技能実習制度見直しによる人権回復を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	△	原案可決
日米自由貿易協定(FTA)交渉の中止を求める意見書	日米間でTAG交渉の合意がされたが、これは「TAG」ではなく「FTA」であり、国民を欺くやり方は許されない。輸入自由化に行き着き、日本の農業主権と経済主権を脅かすFTA交渉を中止することを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	○	△	原案可決
近年増加している電気火災に関する意見書	電気火災の発生件数が増え、後期高齢者の死者数が増加傾向にある。製造物責任法の見直しも含め、高齢者はもとより一般利用者に電気火災の危険性と使用方法の周知徹底を図るために必要な指導の強化を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書	所有者不明土地や空き家の問題が深刻化する中、住民票の除票等の保存期間が5年しかないことから、転居履歴を追えないケースが出てきている。住民票の除票等の保存期間延長、廃棄作業の当面凍結等を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
白タク行為への更なる対策強化に関する意見書	近年横行する白タク行為への対策強化とともに、白タク行為に該当するようなライドシェア(家用自動車を用いて有償で運送を行うサービス)も利用者の安全安心に大きな懸念があるため、慎重に検討するよう求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
森林環境税(仮称)の活用に関する意見書	市町村による森林整備等に必要となる財源に充てる森林環境税が創設される。①都内区市町村に交付される譲与税が多摩産材など東京都の森林のために活用されること、②林業従事者育成の施策を強化すること等を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
臓器移植の環境整備に関する意見書	臓器移植に係る更なる啓発、臓器提供施設を増やすための支援、移植コーディネーターの確保、担当医の負担軽減、臓器移植ネットワークの構築されていない国で臓器移植を受けたいための対策等を求める。	○	○	○	議	○	△	△	△	△	○	○	○	○	原案可決
保育ビジョン及び保育の質ガイドラインを最優先で策定することを求める決議	保育の質のガイドライン等の保育計画は最優先で策定すること、公立保育園運営協議会において保護者からの要望に対応し、信頼関係を大切にしつつ真摯な姿勢で継続的かつ十分な協議を行うことを西岡市長に求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	×	○	△	原案可決
米軍横田基地へのCV-22オスプレイ配備に抗議し、訓練中止と配備撤回を求める意見書	政府及び東京都に、①在日米軍に対し過去のオスプレイ事故の徹底した原因究明、再発防止策の確立及び安全性の確保、②オスプレイの訓練中止と配備撤回を強く働きかけること等を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	△	△	否 決

**賛成討論 (要旨)**  
 水上演志 (日本共産党)  
 第一に、辺野古新基地建設の中止と普天間基地の運用停止を求め国民的議論を提起しているためである。第二に「国内移設を容認するものではない」との一文があり、基地の国内移設を求めるものではない。第三に、全ての自治体を等しく候補地とすることが前提となっていないため、賛成する。

**賛成討論 (要旨)**  
 片山 薫 (市民カエル)  
 この意見書は9月25日に賛成多数で採択された陳情に基づき、陳情者の趣旨に沿ったものである。沖縄への差別意識が可視化され、当事者意識を持って基地問題に向き合うことが突き付けられた。「先が見えない暗闇の中で光が見える新しい扉を開いてくれた」と語る市民もいた。市民の関心を広げる必要がある。

**反対討論 (要旨)**  
 遠藤百合子 (自民党・信頼)  
 日米同盟は、日本の外交安全保障の基軸であり、首脳会談を始め日米間ではあらゆるレベルで綿密な意思疎通が行われている。環境及び軍属に関する補足協定の策定を実現し、日米地位協定の締結から半世紀を経て国際約束が成立していること等、政府は一貫して運用改善に努めているため、反対する。

**賛成討論 (要旨)**  
 宮下 誠 (公明党)  
 今回の決議は、もう行革を進めなくてよいというものではない。市長に対し、保育園の民営化という行革プランを本気で進める意思があるのか、と問いたい。さもなければ自ら行革プランを撤回し、敗北宣言を行うべきと迫る意味合いである。自らの選挙公報に行革をうたったからには、覚悟をもって進めよ。

**賛成討論 (要旨)**  
 保育ビジョン及び保育の質ガイドラインを最優先で策定することを求める決議



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。 ※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

原稿は議員が作成しております

# 特集1

## 基本設計は施設配置案を絞りこまず、整備方針に沿って調整へ

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設について、11月5日に市議会からの提案である4項目の追加調査結果が市長から報告され、その後11月21日、30日、12月14日、18日に庁舎及び福祉社会館建設等調査特別委員会(鈴木成夫委員長)を開催し、12月6日の市長報告では基本設計業者選定に着手することが明らかになりました。

### 議会の多数が求めた追加調査の結果が報告

11月5日開催の市議会全員協議会での市長の冒頭発言により、新庁舎等建設計画調査の中間報告が行われ、①清掃関連施設の敷地内暫定移設は行わない、②新福祉社会館を先行竣工とする、③敷地東側樹木を残す、④新庁舎の免震構造の地下部分を駐車場利用するという4項目が、新たな施設案として成立できる見通しが示されました。

### 議会からの要望で市民説明会も開催



新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設についての説明会が11月7日から13日までに計5回にわたり開催され、計144人が参加しました。しかし11月21日の庁舎及び福祉社会館建設等調査特別委員会では、議会の指摘により、説明会資料では「Cre-2案とC-3案で調整する」と間違った方針を示していたことが判明しました。

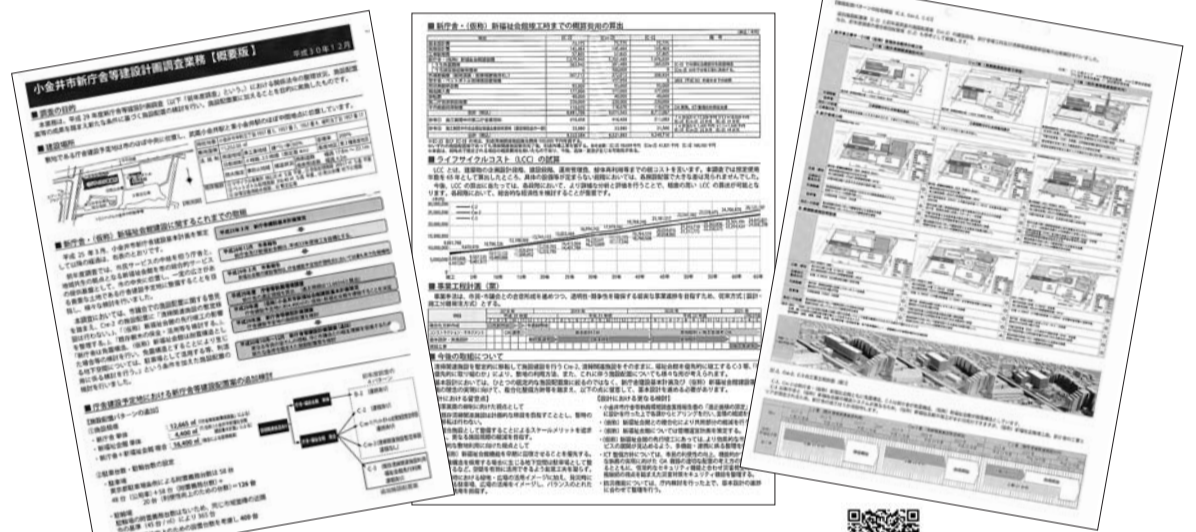
### 市長報告で設計着手を明言

議会からの提案により実施された追加調査の結果を受け、12月6日に行われた市長報告で西岡市長は、説明会に示した資料の誤りについて、お詫びの表明があり、「施設配置案を絞り込むのではなく、複合化整備方針の中で示しているとおり、まず5項目(別表参照)を適切に反映できる設計者を選ぶことから進めていきたい」と明言しました。

### 《整備方針》=基本設計業者選定時に示す条件は5項目

- 既存清掃関連施設の暫定移転は行わない。
- 複合施設として整備することによるスケールメリットを追求し、更なる施設規模削減を目指す。
- (仮称)新福祉社会館機能の早期回復を優先する。
- 免震構造を採用する場合に生じる地下空間は駐車場として整備するなど、空間を有効活用できるよう創意工夫する。
- 平常時の緑地・広場の確保とともに、災害発生時における駐車場・広場活用をイメージし、バランスのとれた空地活用を目指す。

### 実施された建設計画調査業務の概要



詳細は市ホームページ「新庁舎建設関連」をご覧ください



## 新庁舎・(仮称)新福祉社会館、基本設計の業者選定へ(3月末まで)

# 特集2

## 日曜議会を開催しました

2018年12月2日(日)に毎年恒例となった「日曜議会」を開催しました。その開催状況とアンケート結果を抜粋してご紹介いたします。



12月2日の本会議の様子を観ることができるYouTubeの再生回数は合計で441回(2018年12月26日現在)を超えており関心の高さがうかがえます。当日もご自宅でご覧いただいた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

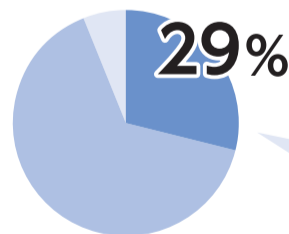
### 日曜議会ってなに?

「日曜議会」は平日にお仕事などで傍聴に来られない方にも実際の会議がどのように行われているかを知っていただくため、小金井市議会独自の取組として年1回、日曜日に本会議を開くものです。全国でも土曜、日曜の議会の開催は例が少なく、住民に開かれた議会を目指した取組の1つといえます。今回は1日で議長を除く23人の議員全員が登壇するため、1人15分の持ち時間で一般質問を実施しました。来年度の開催はまた時期が近くなればお知らせいたします。ぜひ、議場へお越しください。

### 【傍聴者データ】

※傍聴者：41人(前年度比10人増)

<アンケートご協力：31人>お住まいは市内が28人(無記入2人、市外1人)、年齢層は、30歳代と50歳代及び70歳代が6人と最も多く、次いで60歳代が5人、40歳代が4人、80歳代以上が1人となっています。ちなみに10歳代及び20歳代は0人でした(無回答は3人)。意外に年齢層は幅広く、アンケートには表れていませんが、小さなお子さんも同伴で傍聴に来られていました。



### 初めての傍聴者

※問「小金井市議会を傍聴したことがありますか?」

この間に対し、29%の方が「ない(今日が初めて)」と回答しており、この数字をいかに伸ばせるかが重要だと認識しています。

### 【傍聴者の声】

※問「本日の日曜議会についてどう思われましたか?」の自由記述欄から抜粋(要点)

私語はいかがなものか/平日との違いを冒頭に少しでも説明があるといい/平日に来ることができない人にも対応してもらえるのは嬉しい/市の回答が曖昧/議員の質問と市の回答が噛み合っていないことが気になる/市政の為に地道に勉強していることに感心した/1人15分は短い。顔みせ的な日曜議会ではないやり方も検討すべし/傍聴席が入りにくく(通路が狭い)、子どもを連れての傍聴は肩身も狭い。ネット中継でも聴けるが、議場の生の空気を感じたかったので子連れでも遠慮せず来たが、次回はやはり子連れでは来づらい/議員や市の姿勢、考え方が短い時間にたくさん知ることができた/質問時間が表示されているのはよかった/普段の議会に傍聴に来られている方が多かったようだ。関心のある方は固定していると思う/普段の小金井市議会を多くの市民に傍聴、体験を希望する

次の定例会は平成31年2月20日(水)開会予定です。